

西村寿文県本部長(左)から修了証書を受け取る研修生(岐阜市宇佐南、JA会館)



イチゴ新規就農 4人が研修修了

JA全農岐阜

全国農業協同組合連合会
県本部(JA全農岐阜)が
運営する「いちご新規就農
者研修所」(岐阜市曾我屋)
の修了式が、同市宇佐南の
JA会館であり、第11期生
4人がイチゴ生産者として
の一步を踏み出した。

県内のイチゴ生産者を増
やそうと2008年度に開
設しこれまでに37人の卒業
生がいる。4人は既に岐阜
各務原、関市でそれぞれ裁
培施設を建て、営農に向け
た準備を進めている。

修了式でJA全農岐阜の
西村寿文県本部長は修了証
書を手渡し、「基本に忠実
に取り組むことが成功への
近道。困ったときは仲間が
いることを忘れないで」と
訓示した。

研修生は一人一人抱負を
語り、19坪のハウスでイチ
ゴ「美濃娘」を栽培予定の
太田朗さん(44)＝岐阜市河
渡＝は「美濃娘は、他の品
種に引けを取らず甘くてお
いしいイチゴ。多くの消費
者に届けたい」と語った。

(大賀由貴子)